

●香川県告示第177号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和48年法律第110号）第5条第1項の規定に基づく特定施設の設置の許可の申請があったので、同条第4項の規定によりその概要を次のとおり告示する。

なお、この特定施設を設置することが環境に及ぼす影響についての調査の結果に基づく事前評価に関する事項を記載した書面を次のとおり縦覧に供する。

平成27年6月5日

香川県知事 浜 田 恵 造

1 申請の概要

(1) 申請者の住所及び名称並びに代表者の氏名

小豆郡小豆島町苗羽甲2226-15

宝食品株式会社 代表取締役 谷本 充

(2) 事業場の所在地及び名称

小豆郡小豆島町苗羽甲2226-15

宝食品株式会社

(3) 特定施設に関する事項

種	類	水産食料品製造業の用に供する洗浄施設	
能	力	500L 5基	
工 期 等	工事着手予定年月日	許可後	
	工事完成予定年月日	工事着手後1箇月	
	使用開始予定年月日	完成後	
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間		連続5時間使用	
排出さ れる汚 水等の 汚染状 態	項 目	通 常	最 大
	水素イオン濃度	6.0~7.0	4.5~8.0
	生物化学的酸素要求量 (mg/L)	1,600	2,400
	化学的酸素要求量 (mg/L)	1,600	2,400
	浮遊物質 (mg/L)	300	400
	窒素含有量 (mg/L)	60	100
	りん含有量 (mg/L)	30	60
排出される汚水等の量 (m ³ /日)		5	6

種	類	水産食料品製造業の用に供する湯煮施設	
能	力	①350L 2基 ②20L 1基	
工 期 等	工事着手予定年月日	許可後	
	工事完成予定年月日	工事着手後1箇月	
	使用開始予定年月日	完成後	
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間		連続4時間使用	
排出さ れる汚 水等の	項 目	通 常	最 大
	水素イオン濃度	①②6.0~7.0	①②5.0~8.0
	生物化学的酸素要求量 (mg/L)	①②2,000	①②3,000

汚染状態	化学的酸素要求量 (mg/L)	①②2,000	①②3,000
	浮遊物質 (mg/L)	①②250	①②500
	窒素含有量 (mg/L)	①②1,000	①②2,000
	りん含有量 (mg/L)	①②200	①②500
排出される汚水等の量 (m ³ /日)		①0.2、②0.1	①0.24、②0.12

他に既設特定施設を38基移設する。

(4) 汚水等の処理施設に関する事項

変更無

(5) 排出水の汚染状態及び量

区 分		排 水 口 No.1	
排 出 水	項 目	通 常	最 大
の汚染状態	水素イオン濃度	6.5~7.8	5.8~8.0
	生物化学的酸素要求量 (mg/L)	36	48
	化学的酸素要求量 (mg/L)	36	48
	浮遊物質 (mg/L)	30	40
	窒素含有量 (mg/L)	30	60
	りん含有量 (mg/L)	4	5
排出水の量 (m ³ /日)		160	180

他に排水口が20箇所（うち雨水専用16箇所）ある。

(備考) 今回新たに特定施設を設置するが、既設特定施設を廃止するため、排水処理施設で処理する汚水等の量及び汚染状態並びに汚濁負荷量に変更はない。また、単独処理浄化槽1基を廃止し、合併処理浄化槽1基を設置する。

2 縦覧の期間及び場所

(1) 期間

平成27年6月5日から同月26日まで

(2) 場所

香川県環境森林部環境管理課

小豆島町環境衛生課